報道機関各位

2025 年 12 月 24 日［水］アーツ前橋

PRESS RELEASE

世界で活躍するピアニスト／美術家の向井山朋子

美術館では初となる大規模個展「Act of Fire」の見どころを発表



向井山朋子（1963 年和歌山県新宮生まれ、アムステルダム在住）は、音楽、映像、パフォーマンス、インスタレーションなど多領域を越境する表現者として知られ、その活動は一貫して、アート表現の拡張とタブーへの挑戦であり、観る者、体験する者に深い内省や感情の揺らぎをもたらす作品を発表し続けています。

向井山にとって美術館で初の大規模個展となる本展は、アーツ前橋の 6 つギャラリーを地下劇場に見立てた回廊型インスタレーションです。シルクドレスの迷宮《wasted》（2009 年）、3.11 の津波で破壊されたグランドピアノを用いた《nocturne》（2011 年）、映像詩《ここから》（2025 年）など、新旧のアートワークが再構築されます。

タイトルの“Act of Fire”は、本展が向井山の身体と記憶に深く根ざす喪失・抵抗・怒りを燃焼させる儀礼的な空間であると同時に、ジェンダー不平等、激甚化する自然災害、終わりなき侵略といった現実世界の問題を、〈火〉という根源的なメディアによって照らし出していく行為を示唆しています。回廊に次々と映し出される家族の肖像、男だけの火祭り、凝固した経血、津波の泥、燃え尽きるピアノなどのイメージは、観る者の記憶を呼び覚ますだけでなく、〈私〉と〈世界〉との関係性を問う思索の旅へと誘うでしょう。

アーツ前橋｜〒371-0022 群馬県前橋市千代田町 5 丁目 1－16 TEL:027-230-1144

E-mail: press@artsmaebashi.jp



｜開催概要｜

向井山朋子　Act of Fire

2026 年 1 月 24 日［土］— 3 月 22 日［日］

アーツ前橋（群馬県前橋市千代田町 5 丁目 1-16）

開館時間｜午前 10 時〜午後 6 時（入場は午後 5 時 30 分まで）
休館日｜毎週水曜（2 月 11 日［水・祝］開館、翌 12 日［木］休館）
内覧会｜2026 年 1月23日［金］午後 2 時 00 分〜6 時（最終入場：午後 5 時 30 分まで）
※向井山氏と担当学芸員が作品解説をおこなうプレス向けツアーは午後 2 時〜午後 3 時 30 分に実施します。
観覧料｜一般=1000 円／学生・65 歳以上・団体（10 名以上）=800 円／高校生以下=無料
※ギャラリー1（1 階）は観覧無料
※障害者手帳等をお持ちの方と介護者 1 名は無料
※「多様な学びの日」2/14［土］、3/14［土］は入場無料
主催｜アーツ前橋
特別協力｜向井山朋子ファンデーション、一般社団法人マルタス
制作協力｜LUFTZUG、レニエ・ファン・ブルムレン
担当学芸｜宮本武典、東美沙季
助成｜独立行政法人日本芸術文化振興会、オランダ舞台芸術財団、アムステルダム芸術基金
後援｜上毛新聞社、群馬テレビ、ＦＭ ＧＵＮＭＡ、まえばしＣＩＴＹエフエム、前橋商工会議所



｜アーティストについて｜

向井山朋子（むかいやま・ともこ）

オランダ、アムステルダム在住のピアニスト／美術家。1991 年国際ガウデアムス演奏家コンクールで日本人ピアニストとして初めて優勝、村松賞受賞。女性性を核に、身体性、セクシャリティ、境界、記憶、儀式、自然、時空など異なるテーマを横断し、従来の形式にとらわれない舞台芸術やインスタレーション、映像作品を発表。ニューヨーク・リンカーンセンター、パリ・オペラ座などの劇場から、美術館、個人宅、公共空間、時には瀬戸内海の島の魚市場までありとあらゆる空間、オンラインがプラットフォーム。2007 年、向井山朋子ファンデーションをオランダに設立、2015 年には日本で一般社団法人〇+(マルタス)を設立し、プロデュースの分野でも活躍。音楽、美術、映画、ファッション、ダンス、写真など幅広い分野で独創性を発揮している。

©Kiriko Mechanicus

｜展覧会のみどころ｜



津波によって破壊されたグランドピアノ。宮城県石巻市湊地区にて 2011 年撮影

ギャラリー1・2｜津波で破壊された 2 台のグランドピアノによるインスタレーション

本展会期中の 2026 年 3 月 11 日に、東日本大震災の発生から 15 年目を迎えます。震災当時、向井山は《wasted》の東北巡回を準備していました。未曾有の大災害によってその計画は頓挫しましたが、アムステルダムから帰国し被災地に入った向井山は、津波による甚大な被害を受けた宮城県石巻市湊地区で 2 台のグランドピアノと出会います。

同地区の 2 つの学校で、それぞれ国家と校歌を奏でていたこれらのピアノを向井山は引き取り、津波が運んだヘドロや砂、細かな瓦礫が全体にこびりついた状態で提示するインスタレーション《nocturne》（2011 年）を発表しました。2 台のピアノはその 8 年後に銀座メゾンエルメスでの個展《pianist》（2019 年）で、洗浄と部分修復を施されて再展示されましたが、本展でさらに 6 年の時を経て、また新たなインスタレーションに改変・展示されます。

東日本大震災の被災地では復興と同時に記憶の風化が進んでいます。そして 3.11 以後も世界各地で地球温暖化に起因する大規模な水害や森林火災、国家や宗教間の紛争や衝突が止むことはありません。本展ではこの 2 台の津波ピアノを、地上階のギャラリー 1 と吹き抜けでつながった地下階のギャラリー 2 を同時に使って展示します。向井山朋子の 3.11 以後の 15 年が、被災したピアノを用いてどのように再提示されるのか、ご注目ください。



向井山朋子《nocturne》2011 年



向井山朋子《pianist》2019 年／メゾンエルメス
©Kiyoaki Sasahara



ギャラリー3・4｜血で染めたドレスや靴が物語る、女性たちの回廊

商業施設をコンバージョンしたアーツ前橋のギャラリー2~6 は、地下空間に回廊状で配置されています。向井山はこの独特な空間構造を活かして、自らの記憶の層へと降り、ピアニストとして、そして一人の女性としてノマディックに生きた人生を辿りなおしていく経路を、音・映像・オブジェを融合させたインスタレーションとして表現します。

回廊の外周部となるギャラリー 3 ・ 4 では、向井山が「越後妻有アートトリエンナーレ 2009」で発表した《wasted》が、通路状の空間にあわせて再構成されます。《wasted》は女性たちの人生と身体を象徴する数千枚のドレスで、迷路のような空間を創造

する大規模なインスタレーションでしたが、ここではより向井山個人の物語にフォーカスされます。
経血で染められた衣服や靴、一連の写真、地縁・血縁と愛する存在の喪失を象徴する古い鳥籠や家具たち、そして閉じたまま置かれたグランドピアノなどが点々とディスプレイされ、ここまでの彼女の旅と人生を静かに物語るだけでなく、過去〜現在の多様な性をとりまく様々な痛みの経験について、訪れる人々との声なき対話を求めます。





向井山朋子《wasted》2009 年／大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ 2009



ギャラリー5・6｜世界の痛みを焚き上げる、映像と音楽の大広間

回廊の角を曲がると、その奥に燃えさかる 1 台のピアノが現れます。このピアノは、2025 年 7 月に向井山が期間限定で無料配信した 18 分の映像詩《KOKOKARA》に登場するアップライトです。彼女が演奏するマキシム・シャリギンのピアノ作品『9 つの前奏曲』を背景に、鍵盤から炎を吹き上げて崩れ落ちるピアノの映像は、恐ろしくも荘厳な印象を人々に与えるでしょう。
本展「Act of Fire」のクライマックスとなるギャラリー6 の大広間は、この燃えるピアノを中心とした映像インスタレーションです。蚊帳を縫いあわせた何枚もの幕が空間を仕切り、そこに複数のプロジェクターから投影される火のクローズアップ映像によって、観客はあたかも自分自身も含めた部屋全体が業火に包まれているような感覚に陥るでしょう。
部屋のあちこちで燃えている火はピアノから発しているだけではありません。そこには現在も深刻な人道危機にあるパレスチナ・

ガザ地区の戦火や、向井山の故郷・和歌山県新宮市に伝わる〈御燈り〉の松明などが、フラッシュバックのように重ねられ、この炎が向井山個人の知見や怒りからのみ生じているのではなく、現実の世界の痛みをも写し、人々と共有し、昇華するために焚かれていることを暗示しています。





向井山朋子《ここから》より　2025 年（映像作品）

｜関連プログラム｜

特別対談　小池一子 × 向井山朋子

本展のオープニングトークに日本のアート・ファッション・デザインを牽引したクリエイティブ・ディレクターの先駆けとして知られる小池一子氏をお迎えします。ともにジャンルや境界を超えるクリエイティブを追求し、互いの活動に共鳴してきたという両氏の対話にご期待ください。
日時：1 月 24 日［土］午後 3 時 30 分〜5 時
会場・定員：アーツ前橋スタジオ／40 名（事前申込）
お申し込み方法：アーツ前橋ホームページの専用フォームよりお申し込みください。（12 月 24 日［水］申込開始）
参加費：無料（当日の鑑賞券をご提示ください）

小池一子（こいけ・かずこ）……クリエイティブ・ディレクター。武蔵野美術大学名誉教授。1980 年の「無印良品」創業に携わり、以来アドバイザリーボードを務める。1983 年に「佐賀町エキジビット・スペース」を創設主宰し、多くの現代美術家を国内外に紹介（〜2000 年）。著書に『美術／中間子 小池一子の現場』（平凡社）、訳書に『アイリーン・グレイ——建築家・デザイナー』（みすず書房）他。令和 4 年文化功労者。令和 6 年旭日中綬章受章。
Photo by Taishi Hirokawa

学芸員によるギャラリートーク

本展の担当学芸員がツアー形式で会場をご案内し、各展示室の見どころなどを解説します 。
日時：1 月 31 日［土］、2 月 28 日［土］午後 2 時〜3 時
会場・定員：アーツ前橋ギャラリー／30 名程度（申込不要、1 階受付カウンターにお集まりください）
参加費：無料（当日の観覧券をご提示ください）
案内人：宮本武典（アーツ前橋チーフキュレーター、東京藝術大学准教授）

おしゃべりアートデイズ

アーツナビゲーターとともに、気づいたことや感じたことなどおしゃべりしながら鑑賞するプログラムです。
日時：2 月 14 日［土］、3 月 14 日［土］午後 2 時〜（40 分程度）
会場・定員：アーツ前橋ギャラリー／5 名程度（事前申込）
お申し込み方法：アーツ前橋ホームページの専用フォームよりお申し込みください。（12 月 24 日［水］申込開始）
参加費：無料

ガトーフェスタ ハラダ主催　向井山朋子ピアノコンサート

日時：3 月 7 日［土］開演=午後 6 時 30 分
会場：ガトーフェスタ ハラダ本社 1 階エスポワールホール（群馬県高崎市新町 1207）
プログラム：マキシム・シャリギン『9 つの前奏曲』
入場料：全席自由 2,000 円 （税込み） ※チケット売上金は全て国境なき医師団に寄付させていただきます。

イベントの内容は変更になる場合があります。下記の展覧会ホームページで最新情報をご確認ください。
https://artsmaebashi.jp/?p=21856

｜プレスプレビュー｜
日時：2026 年 1 月 23 日［金］午後 2 時 00 分〜 6 時（※最終入場時間は午後 5 時 30 分まで）
向井山氏と担当学芸員が作品解説をおこなうプレス向けツアーは午後 2 時〜午後 3 時 30 分に実施します。
参加ご希望の方は、右のＱＲコードもしくは以下 URL からお申込みください。
https://logoform.jp/form/dWZu/1318863

｜広報用図版｜
広報用画像として本リリースに掲載している画像をご用意しております。
ご希望の場合は、こちらの URL からお申込みください。 https://logoform.jp/form/dWZu/1234122
※お申込み後に、ダウンロード用の URL と ID・PASS をお送りします。
※掲載にあたっては、展覧会名と会期を表記してください。
※画像等を掲載する場合は、キャプション・クレジット等を正確に表記してください。
※掲載記事や VTR は、資料として保管いたしますのでアーツ前橋までご送付ください。
※取材及び収録等の際は、必ず事前にお問い合わせください。
※画像の使用は本展覧会の広報目的に限り、個人ブログ等への掲載や鑑賞等を目的とする場合には提供できません。



【1】



【2】



【3】



【4】



【5】



【6】



【7】



【8】



【9】

番号	キャプション・クレジット
【1】	アーツ前橋「向井山朋子 Act of Fire」展　ポスタービジュアル

【2】	アーツ前橋「向井山朋子 Act of Fire」展　キーヴィジュアル
【3】	《火を燃やす-1》2025 年 ©Tomoko Mukaiyama
【4】	《KOKOKARA》2025 年 ©Tomoko Mukaiyama
【5】	《KOKOKARA》2025 年 ©Tomoko Mukaiyama
【6】	《KUMANO》2021 年 ©Tomoko Mukaiyama
【7】	《KUMANO》2021 年 ©Tomoko Mukaiyama
【8】	《KUMANO》2021 年 ©Tomoko Mukaiyama
【9】	《wasted》2009 年　photo: Rachel Nieborg. ©Tomoko Mukaiyama

｜お問い合わせ｜

アーツ前橋
前橋市役所文化スポーツ観光部文化国際課
担当：酒井・藤野（広報担当）、 東（学芸担当）
〒371-0022 群馬県前橋市千代田町 5-1-16
TEL：027-230-1144　FAX：027-232-2016
URL：https://www.artsmaebashi.jp/
Email：press@artsmaebashi.jp

｜交通案内｜

●公共交通機関
JR 前橋駅から徒歩約 10 分
上毛電鉄 中央前橋駅から徒歩約 5 分
JR 高崎駅から西口 1 番のりばから路線バスに乗車（前橋駅前行）約 35 分　「本町」下車、徒歩約 2 分
JR 渋川駅から駅前 1 番のりばから路線バスに乗車（前橋駅行）約 40 分　「本町」下車、徒歩約 2 分

●自動車
関越自動車道 前橋 IC から車で約 15 分
※Ｐマークの駐車場のご利用に関しては、駐車券に 4 時間無料の割引処理をいたします。

